

マドリッド通信

在スペイン日本国大使館附属
マドリッド日本人学校
文責 堀内正樹
平成31年3月4日 No.12

1年をふり返って

マドリッド日本人学校は1981年に設立されました。それから38年がたとうとしています。本年度は、マドリッド日本人学校の教育活動を校外の多くの方に知っていただくとう学校紹介パンフレットを作成しました。パンフレットの掲載内容を考えることで改めて、脈々と受け継がれてきた本校の教育活動に気づき、それらをまとめると次の4つに集約することができました。

- ・日本語での丁寧な教育
- ・異文化を受け入れる柔軟な姿勢を育てる外国語教育
- ・先輩に学び後輩に伝える小中一貫教育
- ・現地社会との関わりを大切にされた教育

これらのことは、今年度もしっかり引き継がれております。まず、日本の学習指導要領に基づいた日々の教科の授業では、国語科での学びが他の教科にも生かされて、学びを深める姿がありました。また、児童生徒はネイティブの講師による外国語の授業に積極的に取り組み、文化祭では、そこで身につけた力を英語劇や、スペイン語でのスペイン文化の紹介で生き生きと表現することができました。運動会や宿泊体験学習では小学部・中学部の児童生徒が準備から振り返りまで一緒に活動し、思いやりの心や近い将来を見通す力をはぐくむことができました。そして、現地社会とのつながりを大切にする活動として、社会見学や職場体験学習・福祉体験学習、マリア校との現地校交流学習などに取り組みんだり、日本人会の活動に参加させていただいたりする中で、児童生徒はコミュニケーションの力を高めたり地域貢献への意識を高めたりすることができました。

本校では、これらの活動に安心して思い切り取り組んでおりますのも、保護者様をはじめ本校の教育活動に御理解をいただいている水曜会や日本人会の皆様の御支援の賜物と心より感謝いたします。

児童生徒は今、活動ごとの自分のふり返りを文集としてまとめています。このたよりでもいくつか紹介したものもありますが、「周りとの関わりながら、自分を見つめ、今までの考えをさらに深め、将来に向けての目標をたてていること」が読み取れます。このように自分自身を振り返り成長させていく力は、これからの社会のさまざまな変化に対応するために身につけたい力といわれ、新しい学習指導要領で育成していきたい「これからの社会を生き抜く力」につながっています。

マドリッド日本人学校に脈々と引き継がれてきた教育活動への思いをこれからも大切にしながら前進させていきたいと思っております。



3月の予定

1	金	
2	土	
3	日	
4	月	全校集会
5	火	地域グリーン作戦
6	水	中華ランチ
7	木	
8	金	参観日 保護者全体会 懇談会・面談
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	卒業式予行
13	水	パエージャランチ
14	木	卒業証書授与式
15	金	修了式 離任式
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	



マラソン大会

体調不良者が出たため当初の計画を延期し、2月14日マラソン大会が行われました。

全員が参加し走り切ることが出来ました。この大会に向けて、自分の目標タイムを決め、中休みや体育の授業に走り込んでいました。本番では多くの生徒が昨年度または目標タイムをクリアしていたようです。多くの生徒の感想から「自分に克つこと」や「努力は報われること」を実感できたことが読み取れます。

小学部1年 R,D

ちょっとさかみちをはしるのがしんどかったけど、いっしょうけんめいはしれてよかったです。いっしょうけんめいはして、しんきろくも出て、すごくうれしいです。ぼくも、はしるのがはやいとおもいました。おかあさんもよろこんでくれたから、ぼくもはやいなとおもいました。

小学部4年 T,M

今日、マラソン大会でした。とてもいやでした。だって、私は、マラソンきらいだし、つかれていやだし、苦手だからです。5・6時間目がすごくきてほしくありませんでした。

公園に着きました。心の中で、ずっと(やだやだ~!!)とさげんでました。でも、最後は少し楽しかったし、終わってすごくうれしかったです。もう今週のいやなことは、全部終わりました。いやだったけど、けっこう楽しかったです。

小学部5年 M,N

私は、このマラソン大会でとてもつかれましたが、がんばって走り続けました。場所は、私のピソのすぐそばでした。今回は、去年よりきよりが500m長くなりました。本当は1月の終わりにやるはずでしたが、2月14日にえん期となったので、練習する期間がもっと長くなりました。そのおかげで、どんどんマラソンが上手になってきました。

本番、いきなり上り坂から始まりました。上り坂はとてもつかれました。下り坂では一気にスピードを出しました。私は、Rちゃんと二人で先頭を走っていました。みんながいるところに来ると、みんなすごく応えんしてくれたので、もっとがんばろうと思いました。1キロを過ぎたら、しんどくなってきました。でも、(これは本番だ。これをがんばったらもうマラソンしなくていい。)と思い、がんばりました。S先生がいるところを走ってからペースを上げていきました。少しすると私はRちゃんをぬかしました。その時、私は今までのマラソンで一番つかれていました。でも、後少しだと思い、さらにペースを上げました。Rちゃんからはなれていって行く気配がしたので、(1位になれる。)と思い、少し油断していました。(1位だー!!ゴールだー!!)ともう少しダッシュして、1位でゴール、という時に、気づいたらとなりにRちゃんがいました。そして、ゴール。なんと私とRちゃんは全く同じタイムでした。私もダッシュしましたが、Rちゃんは最後まで速く走っていました。私は最後に油断していましたが、



Rちゃんをあきらめずに最後まで走っていてすごいと思いました。本当は一人で1位がいいと思っていましたが、二人で1位はとても気持ちがいいと思いました。もし、一人が1位だったら、1位の人はずれいけど、もう一人はがっかりすると思います。そしていい仲間といっしょにやりきることができてとてもうれしかったです。二人でゴールは本当に仲間とがんばってきた思い出にもなり、いいことだと思いました。そして、仲間のがんばりも知ることができました。私は去年Rちゃんに勝っていました。でも、今年は私とりRちゃんは同じぐらいの速さでした。りなちゃんも練習をがんばっているんだなと思いました。

今年のマラソン大会は、とてもいい思い出になりました。来年のマラソン大会でもいい結果を残したいです。

中学部1年 S,N

3学期に入ってマラソン週間が始まり、初めて走った時は去年と比べスピードも落ちていて、持久力も全然ありませんでした。しかし、練習を重ねていくと、ペースがつかめてきました。



そして当日、天気にも恵まれ、快晴の中で走りました。小学生が思いのほか早く終わり、あっという間に自分たちの番が回ってきました。そして、スタートして1周目、まあまあ順調でしたが、1周目の帰りの上り坂でだんだんきつくなってきてスピードが落ち始めました。それでもなんとかそのスピードを維持し続けることができました。そして、初回の時より2分程タイムが縮みました。

私は、約一カ月の活動を通して、自分の持久力の無さに気づかされました。それでも、精一杯頑張れたと私は思います。当日走っている時も、応援があることの喜びというのが分かりました。きっと自分の気持ちも持久力も去年より一歩前進したと思います。

来年はもっと前進して、タイムも縮めたいと思います。

中学部3年 M,Y

マラソンは、得意ではありますがあまり好きな分野ではありません。長距離を走るのには、辛くしんどいことであり、自分から進んでやろうとは思いませんでした。

しかし、苦しい上り坂や急な下り坂を必死で乗り越えて、優勝した時は半端ないうれしさがありました。僕は、このマラソン大会で



どんな苦しいことでも最後まであきらめず、必死で頑張れば乗り越えることができ、それを達成した時の達成感は、この上ないものだということを学びました。

低学年の子たちや保護者の方々が応援してくれた中で、「1位」という成績を残せたのは、本当にうれしい事だと思います。

このマラソンの経験をこれからの学校生活に活かしていきたいと思っています。



マリア校との交流学習

Visita al colegio Japonés de El Plantío

11 de febrero de 2019



El lunes once de febrero algunos alumnos de nuestro Colegio Salesianas Majadahonda de tercero, cuarto, quinto y sexto de primaria, del colegio María Auxiliadora, tuvimos la gran oportunidad de conocer a nuestros vecinos del colegio Japonés de El Plantío.

Nada más llegar, los anfitriones nos recibieron con alegría e ilusión con un texto en japonés que más tarde tradujeron. Para poder realizar diferentes actividades nos organizaron en tres grupos.

La primera actividad fue muy divertida. Consistía en poner las partes de la cara a un dibujo del rostro de un niño con los ojos tapados y guiándonos por las instrucciones de nuestros compañeros.

En la segunda actividad la realizamos en el taller de pintura, tuvimos la oportunidad de conocer la grafía japonesa. Los niños del colegio japonés escribían nuestros nombres y nosotros los repetíamos. Pudimos comprobar lo diferente y difícil que es escribir en japonés, pero a la vez ha sido muy divertido.

Por último, fuimos al gimnasio. Hicimos un juego de palabras por equipo, ellos nos decían las palabras y nosotros teníamos que buscar las imágenes relacionadas. Ganaba el equipo que más imágenes conseguiera.

Para finalizar nos han proyectado los vídeos de hemos preparado para que conocieran las instalaciones de nuestro colegio y nos han pedido hacer un juego típico nuestro. Les hemos enseñado a jugar al fútbol, es beisbol, pero tirando con el pie. Les ha gustado mucho y han disfrutado de un nuevo juego.

Nos gustaría mucho repetir la experiencia y que los alumnos del colegio japonés pudieran venir a visitarnos y enseñarnos más cosas.

La segunda trataba de pintar nuestros nombres con materiales japoneses y por último nos quedamos en el gimnasio e hicimos dos juegos, el primero trató de coger la carta con la palabra japonesa que nos dictaban y el segundo lo preparamos nosotros, los alumnos visitantes, consistía en chutar el balón e intentar que no lo cojan, es una mezcla del fútbol y béisbol.

En conclusión, los dos colegios nos lo pasamos genial aprendiendo las diferentes costumbres de cada centro.

Martina Alonso y Almudena de Elio, de 6ºA

2月11日に、児童同士で日本文化とスペイン文化の交流を図ることを目的に現地校交流会を行いました。

毎年日本人学校近隣にあるマリア校と交流会を行っています。小学部の児童が「お互いに仲良くなるために！」をテーマに工夫を凝らした準備をしていました。日本の遊びとして「福笑い」を紹介していましたが、マリア校の児童も初めてだったこともあり、教室は笑いの渦。大盛り上がりでした。

その後体育館に移動し、マリア校の児童が考えてきたキックベースのようなゲームを行いました。子供たちはすぐに打ち解け、子供らしい素敵な笑顔がたくさん見ることが出来ました。

お互いが普段楽しんでいることを紹介しあい、その内容を柔軟に受け止め馴染んでいく姿に、子どもたちなりに「現地理解・異文化理解」をしていることを感じました。

在外教育施設だからこそできる貴重な体験でした。また、この交流会は、マリア校のホームページでも取り上げられました。

講師招聘学習

●朗読教室

2月15日に朗読家の渡辺祥子さんをお迎えし、朗読教室が開かれました。渡辺先生がいくつかの物語を暗唱で声だけで児童生徒に読み聞かせをして下さいました。美しい声と感情を込めた巧みな抑揚で目を閉じると風景が浮かんでくるような感覚でした。



中学部 1年 N,M

ぼくは100羽の鶴を飛行機を思い浮かべながら聞きました。想像しながら話を聞くと途中で他のことを考えたりしないことに気づきました。また、祥子先生の伝え方はとてもその場所や出来事が伝わります。今日、多分僕の想像力は少し豊かになったと思います。

中学部 2年 H,M

今日はマドリッド日本人学校に来てくださりありがとうございました。頭の中に景色を思い浮かべ

ながら聞いていました。東北の方言が多かったですが、わたしは北海道出身なのでなんとなく似ていたのだからわかりました。宮沢賢治の話など少し長い話でも集中して聞くことが出来て楽しかったです。私は、本を読むのが好きですが、最近は忙しくて読む機会がなかなかなかったので、今回の朗読会で本を読みたくくなりました。また、マド日に来てください。ありがとうございました。

中学部 2年 Y,D

マド日に来てくれてありがとうございました。僕はあまり本は読まないけど、今日の朗読会があり、本を読みたくくなりました。そして読んでもらっただけで本の絵が想像できました。祥子先生はきれいな声だったのでよく聞き取りやすかったです。わざわざ仙台から来てもらいありがとうございました。

フロをお招きして 家庭科調理実習

2月22日、中学部家庭科の調理実習に日本人会の吉田さんをお招きし、学びを深めました。吉田さんはスペインの日本人調理人としての第一人者です。限られた時間の中で餃子の作り方をご指導頂きました。150個の餃子を作り全校で美味しくいただきました。巧みな包丁さばき、餃子の具への隠し味、ちょうど



いい加減の火力の調整など教員だけで進められる授業とは全く違う貴重な時間となりました。お忙しいところありがとうございました。

日本人会主催 ボウリング大会

2月17日に日本人会主催のボウリング大会が開かれ多くの児童生徒と保護者が参加しました。日本人会や運営委員のみなさま、週末に本校体育館を利用している団体の方も参加し、学校の枠を超えた多くの皆様と同じ時を楽しく過ごすことが出来ました。

学校内だけの人間関係でなく、このような機会に多くの方々とふれあい、いろいろなお話を聞かせていただけたことは児童生徒にとって貴重な体験であるのとらえております。

今後ともよろしくお願いたします。



マド日カップ バスケットボール大会

本校では毎週金曜日の放課後に「部活動」に取り組んでいます。中学部が取り組んでいるスポーツは「バスケットボール」です。本校教員の中にもバスケットが好きなものが多く、2月28日に「マド日カップ争奪バスケットボール大会:生徒 VS 教員チーム」が開かれました。

中学部3年I,M監督が率いる生徒チームと中村大介教諭が率いる教員チームの「真剣」な試合です。体力的にはそろそろ生徒たちにはかなわないところも出て

きましたが、何とか教員チームが勝利し面目を保つことが出来ました。

準備運動から作戦会議まで自分たちで取り組む生徒の姿やプレー中に感じる生徒たちの「圧力」に成長とたくましさを感じました。後半、教員は息切れとの戦いもありましたが、生徒たちは最後の最後まで走り続けます。前半の得点を死守し何とか勝利。

これからも生徒たちとの「本気の戦い」を楽しんでいきたいと思ひます。

